



書附草紙類
二

2581



414
A 328



以書對車款願以

一玉川掛而止水之儀中慈平
武列多摩於玉川村新親也
善清而用玉川在遠同清也
友人曰 仲村丹情少以善清
如身文 迨之少相易以分也

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

但合之定清り不流身ヤ抄之永懐は
来い成有常取し思定清り原は
作方り是いり之文不在お之日と場
新し人也柳ノ音少乃又各々
紙少書清り流渡り江身存は
大改清り一新し所而止極ニ後思
少以右類ノ題ノ字仲身少不ニ至

新書版傳子類上ノ上

長
二月

會計官菅野南文記

林田小倉

山川上水但信清原人
島飛屋原人

新書版傳子類上ノ上

市上水沖採用お成い後い

東京府

上水屋浦改所

市上水沖採用

口法改

山縣之

右取入

作法

右取入

一 淺草沖取入

右取入

右取入

右取入

右取入

右取入

右取入

多きり誠々たる存心は
 大改訂一新の旨に在りては為るに折柄は急
 なる存心は清軍と雖も其の市場を示すは
 法桂海軍と菅原と雖も其の市場を示すは
 作出のく年来其の法は仕のり左海軍且
 瘡痍と云ふは世に在りては仕のり左海軍且
 成成法に情を投じては一途なる存心は
 存心法と云ふは世に在りては仕のり左海軍且

至度偏に其款願ひの上

随處新町住居
 倉庫及管轄の文統

四月廿二日

辰二月

林田小左衛門

